

東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2015年3月期第2四半期決算-

2014年11月6日

目次

- | | |
|------------------------------|------|
| 1.2015年3月期第2四半期連結決算 | p.2 |
| 2.2015年3月期通期連結決算予想 | p.12 |
| 3.トピックス
～tok中期計画2015の取組み～ | p.19 |

**2015年3月期第2四半期
連結決算**

業績概要

(百万円、%)

	2013/9	2014/9		
			増減	増減率
売上高	39,071	42,057	+2,985	+7.6
営業利益	5,047	6,707	+1,660	+32.9
経常利益	5,767	7,080	+1,312	+22.8
当期純利益	3,725	4,895	+1,169	+31.4

- 期中平均為替 (USD/円) : 97.9円/ドル (2013/9) ⇒ 102.2円/ドル (2014/9)
- 売上高 : エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品の好調が続き、修正予想 (2014.7.31公表) を上回る増収を確保。
- 営業利益 : 材料事業の増収効果、装置事業の収支改善等に 会計要因が加わり修正予想 (2014.7.31公表) を上回る増益を達成。

営業外損益・特別損益

(百万円)

	2013/9	2014/9	前年比
営業外損益	719	372	△347
(営業外収益)	(914)	(543)	△371
受取利息・配当金	192	121	△70
為替差益	302	313	+10
持分法による投資利益	99	26	△72
(営業外費用)	(194)	(170)	△23
租税公課	154	4	△149
新工場関連費用	—	161	+161
特別損益	△225	584	+809
(特別利益)	(0)	(622)	+622
退職給付制度改定益	—	622	+622
(特別損失)	(225)	(37)	△187
減損損失	214	15	△199
固定資産除去損	11	22	+11

事業別セグメントの業績

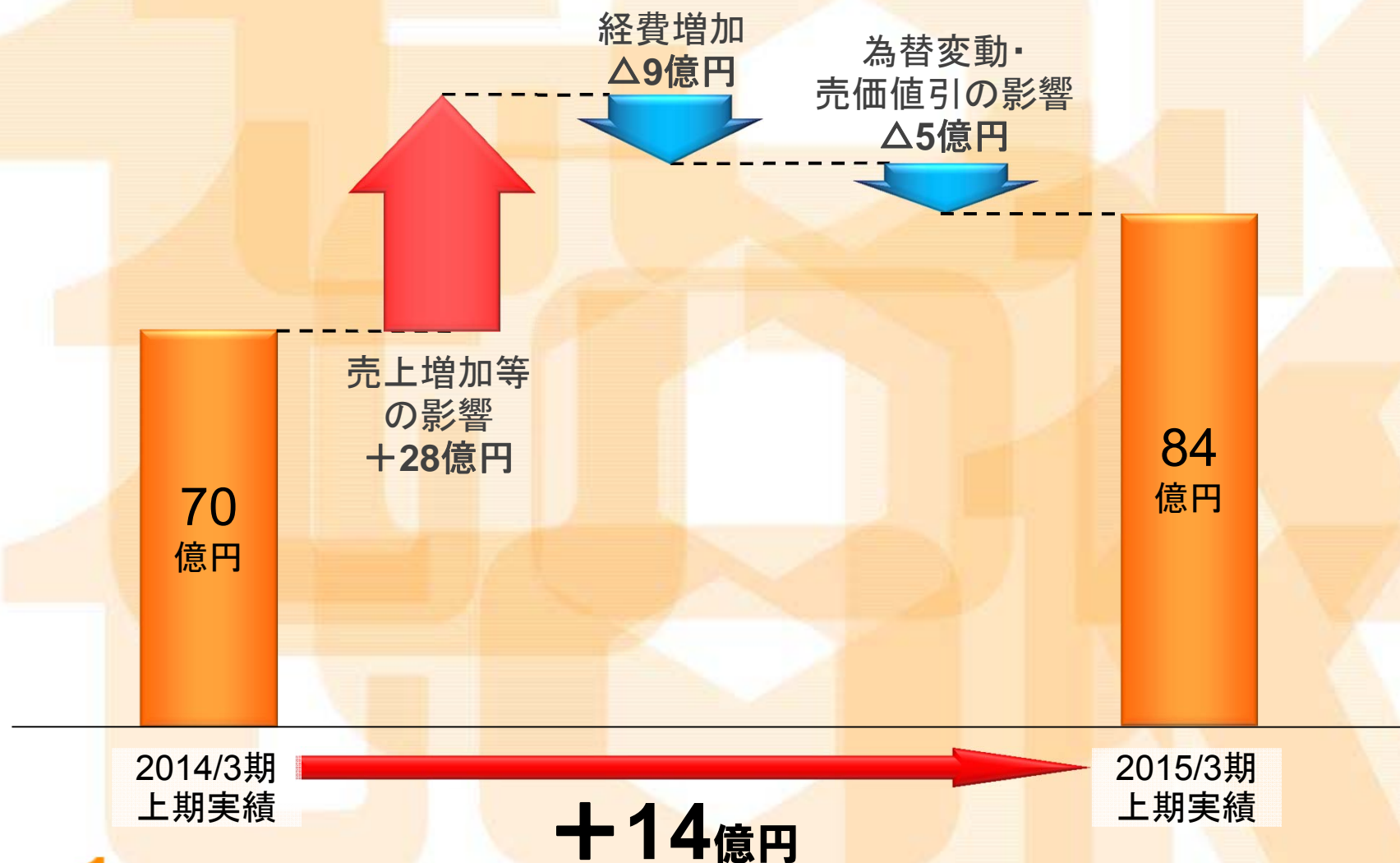
(百万円、%)

	2013/9	2014/9	
		増減	増減率
売上高	39,071	42,057	+2,985 +7.6
材料事業	37,543	40,557	+3,014 +8.0
エレクトロニクス機能材料	23,091	24,127	+1,036 +4.5
高純度化学薬品	14,283	16,304	+2,021 +14.2
その他	168	125	△43 △25.7
装置事業	1,527	1,499	△28 △1.8
営業利益	5,047	6,707	+1,660 +32.9
材料事業	7,045	8,406	+1,360 +19.3
装置事業	△472	△188	+283 -
消去又は全社	△1,525	△1,510	+15 -

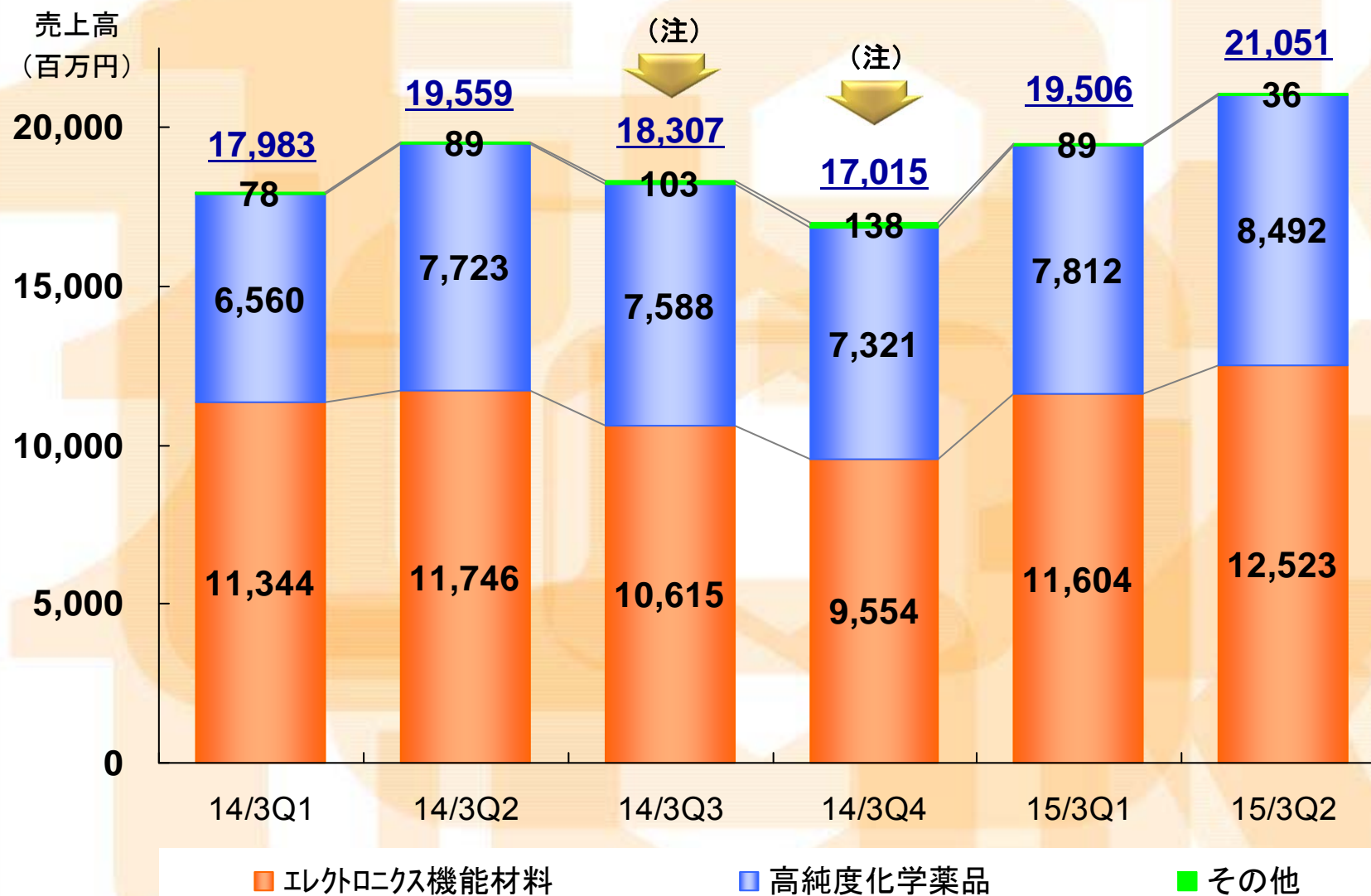
(注) 装置事業の売上は消去後の数字。

営業利益の増減内訳（材料事業）

2014年3月期上期実績 対 2015年3月期上期実績



材料事業の売上内訳

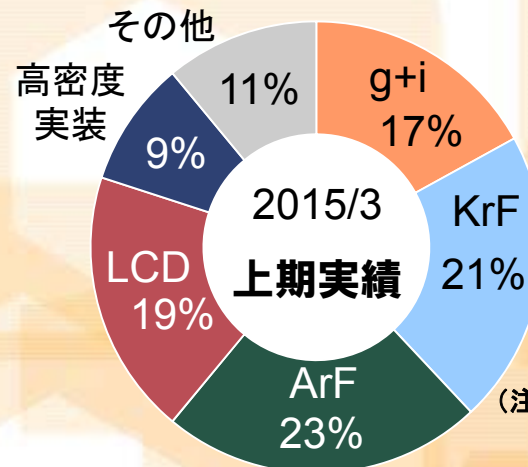
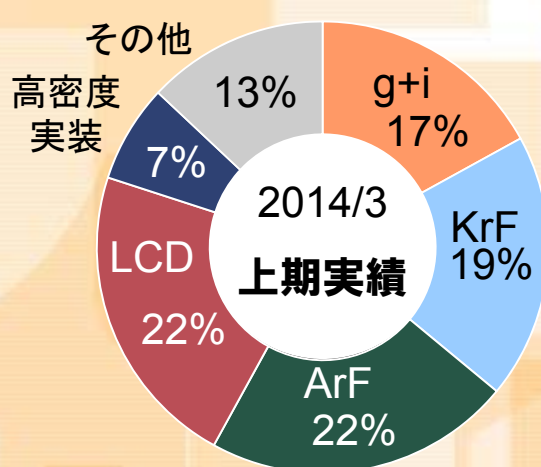


(注) 韓国子会社の営業開始に伴い、販路を一部変更しております。

東京応化工業株式会社と子会社間の決算期の違いから、14/3 Q3・Q4の売上高にマイナスの影響が出ております。

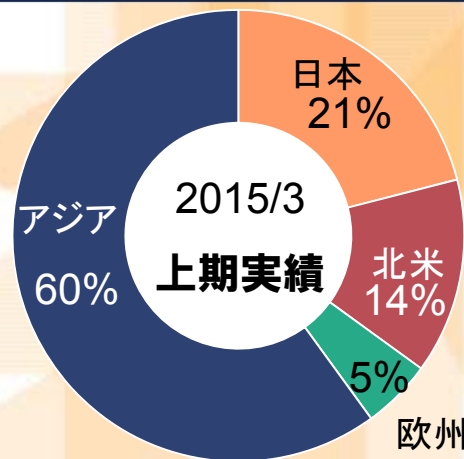
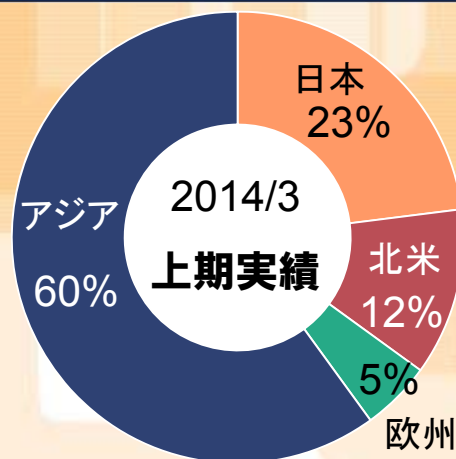
(ご参考) エレクトロニクス機能材料部門

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



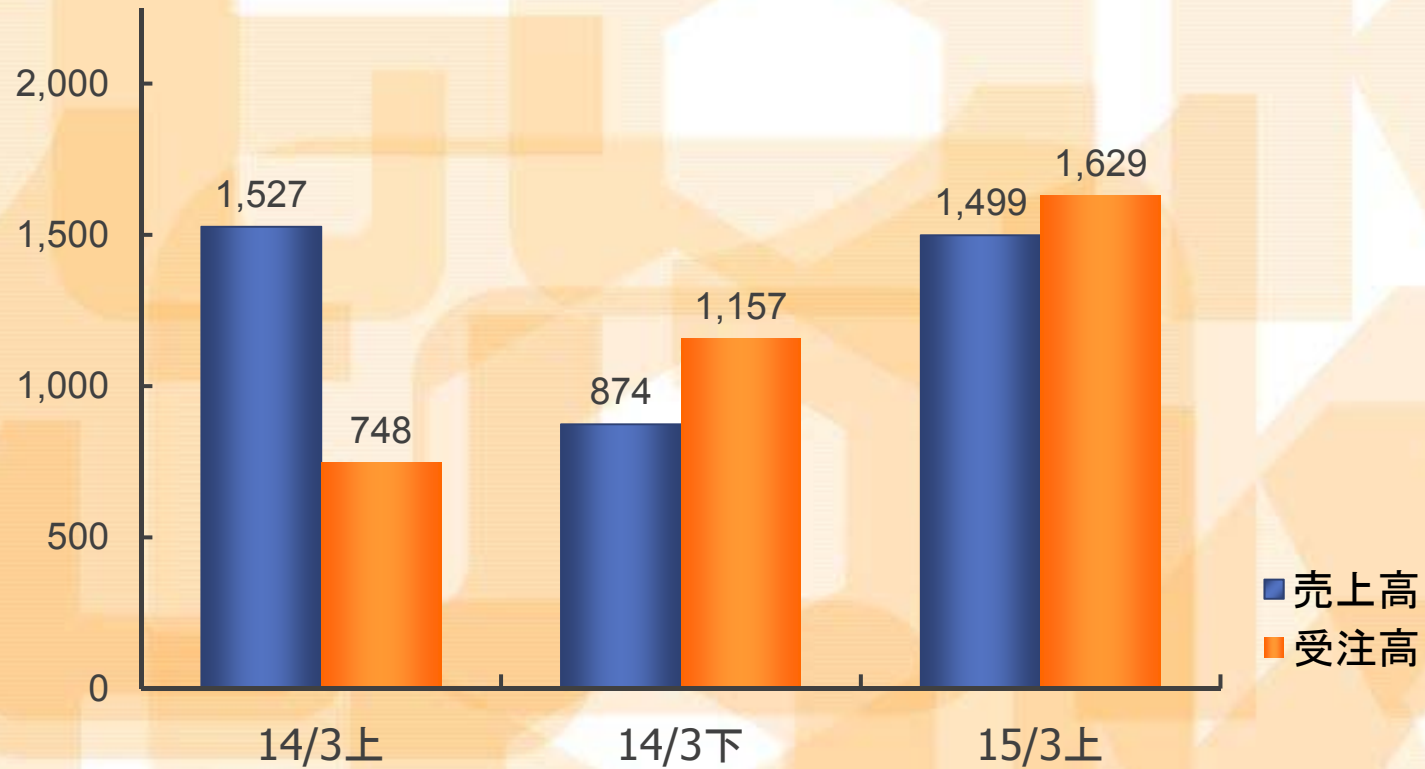
(注) 高密度実装:レジスト材料、MEMS材料、WHS材料

半導体フォトレジストの地域別売上構成



装置事業

売上高・受注高
(百万円)



(百万円)	14/3上	14/3下	15/3上
期末受注残高	769	1,051	1,180

比較貸借対照表

(百万円)

	2014/9	14/3末比	
流動資産	85,549	+2,301	
現金預金	55,137	+1,766	
売上債権	18,056	+1,432	
たな卸資産	9,605	△840	
有形固定資産	47,406	+2,829	建物及び構築物 + 1,883 機械装置 +10,620 工具器具備品 +348 建設仮勘定 △10,014
無形固定資産	1,112	+463	
投資その他の資産	28,905	+1,520	
流動負債	17,045	+2,667	
買入債務	8,079	+2,335	
固定負債	2,325	+806	利益剰余金 +3,765 自己株式 +58 為替換算調整勘定 △611 退職給付に係る調整累計額 △256
純資産合計	143,602	+3,639	
総資産	162,973	7,114	

キャッシュフロー

(百万円)

	2013/9	2014/9
営業キャッシュフロー	+5,740	+7,447
税金等調整前当期純利益	+5,542	+7,665
減価償却費	+1,241	+1,661
貸倒引当金の増減(△)額	△802	+52
売上債権の増(△)減額	△993	△1,670
たな卸資産の増(△)減額	+1,438	+674
仕入債務の増減(△)額	+821	+2,406
前受金の増減(△)額	△823	△688
法人税等の支払い	△1,655	△2,120
投資キャッシュフロー	△6,039	△4,537
財務キャッシュフロー	△1,403	△809
換算差額	+1,057	△333
現金及び現金同等物の増減(△)額	△645	+1,767

主な内訳
有形固定資産の取得 △3,927

主な内訳
配当金の支払 △1,303
(含む少数株主)



**2015年3月期通期
連結決算予想**

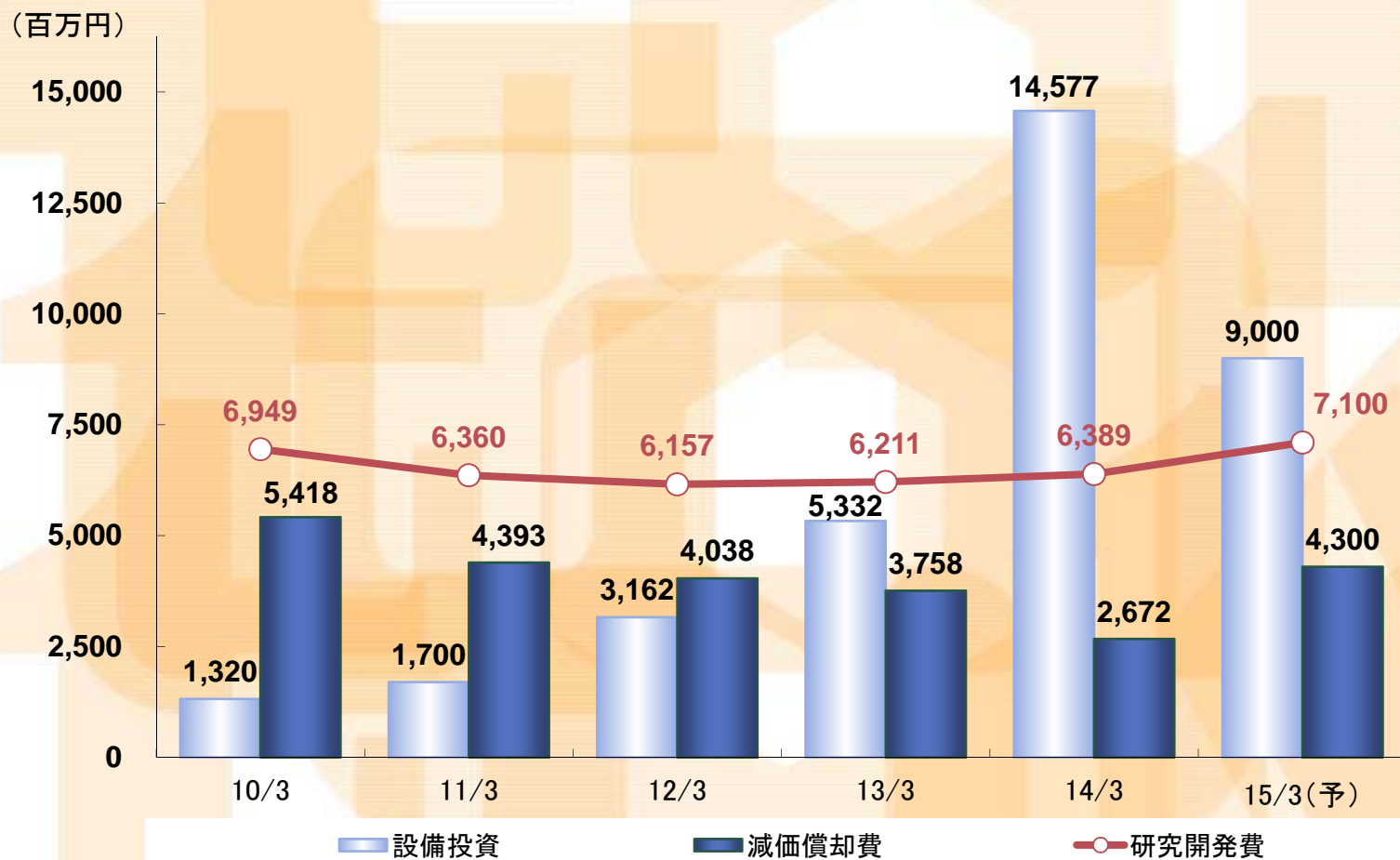
業績予想概要（通期）

（百万円、％）

	2014/3 実績	2015/3予想	
		増減	増減率
売上高	75,269	87,700	+12,430 +16.5
営業利益	10,025	12,500	+2,474 +24.7
経常利益	12,269	12,800	+530 +4.3
当期純利益	7,549	8,800	+1,250 +16.6

- 為替前提（USドル）：99.3円／ドル（2014/3）⇒105.0円／ドル（2015/3下期）
- 売上高：材料事業の好調から、前年比+16.5%の増収に上方修正。
- 営業利益：材料事業の伸長、装置事業の改善から前年比+24.7%の増益。
- 経常利益：営業外収益の減少から伸び率は低くなるが、増益を確保。
- 当期純利益：前年比+16.6%の増益、2期連続の最高益更新。

設備投資・減価償却・研究開発



事業別セグメント業績予想

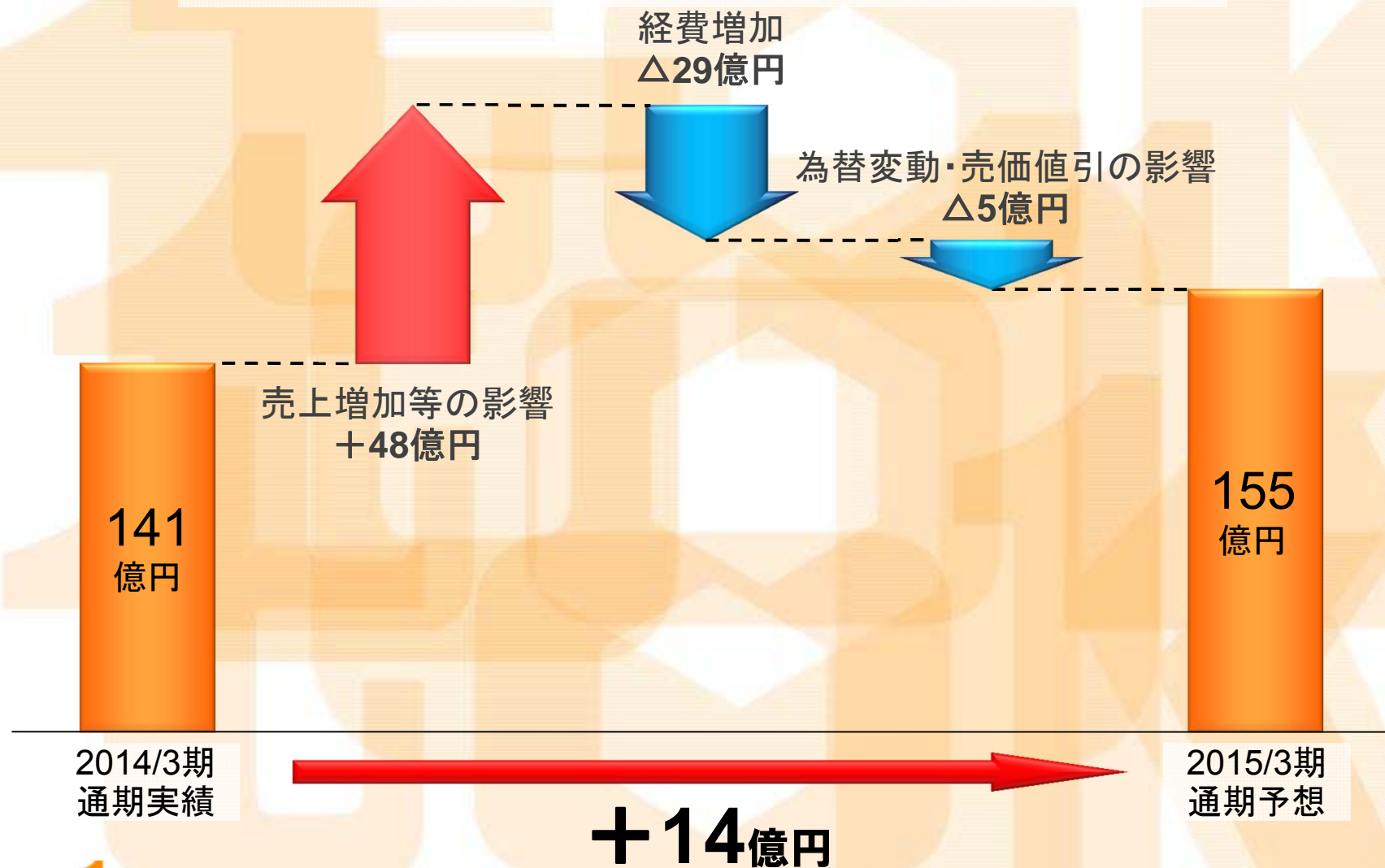
(百万円、%)

	2014/3 通期実績	2015/3通期予想	
		増減	増減率
売上高	75,269	87,700	+12,430 +16.5
材料事業	72,866	83,300	+10,433 +14.3
エレクトロニクス機能材料	43,261	49,200	+5,938 +13.7
高純度化学薬品	29,194	34,000	+4,805 +16.5
装置事業	2,402	4,400	+1,997 +83.1
営業利益	10,025	12,500	+2,474 +24.7
材料事業	14,086	15,500	+1,413 +10.0
装置事業	△889	200	+1,089 —
消去又は全社	△3,171	△3,200	△28 —

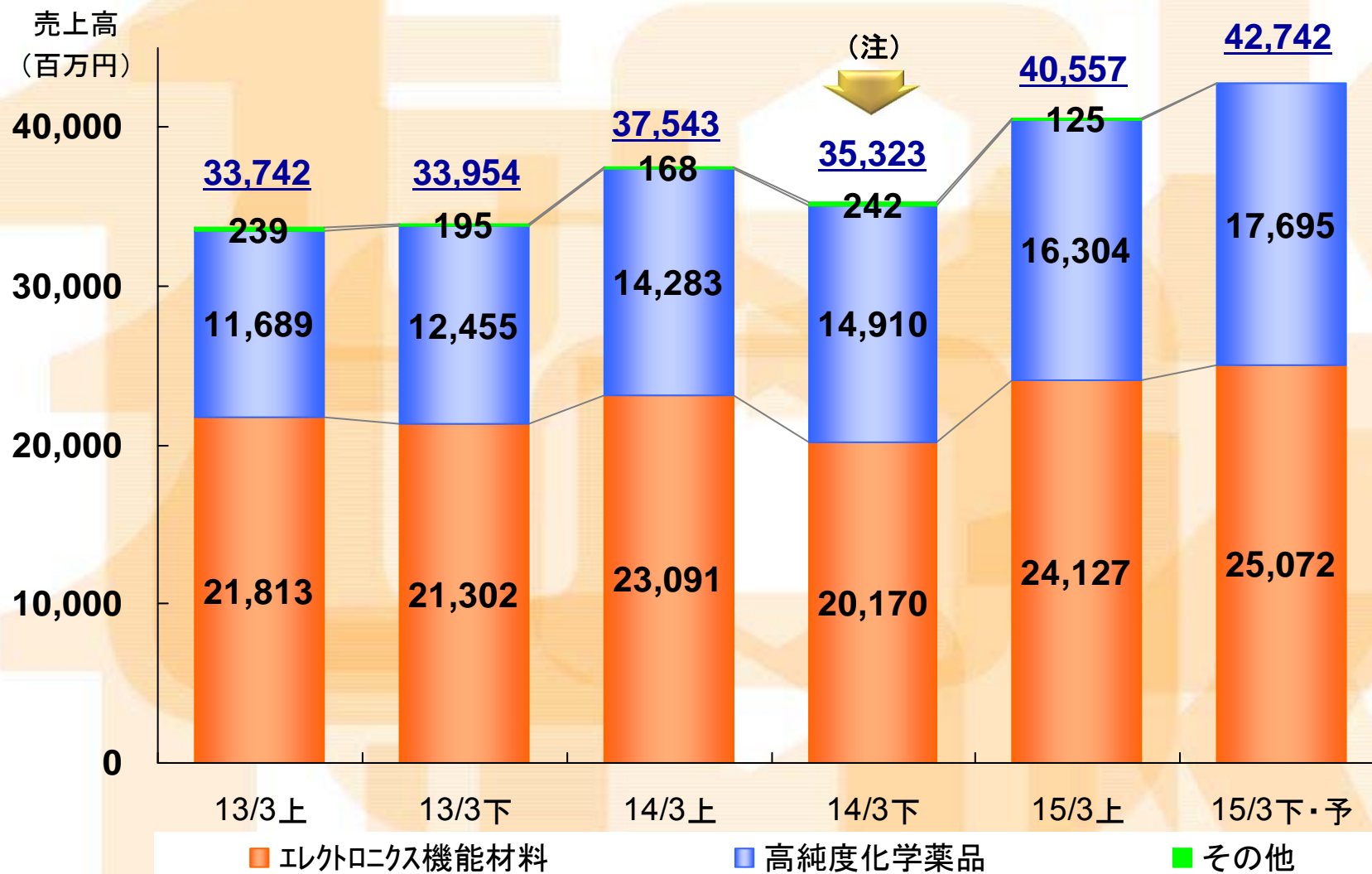
(注) 装置事業の売上は消去後の数字

営業利益の増減内訳（材料事業）

2014年3月期実績 対 2015年3月期予想



材料事業の売上内訳（予想）



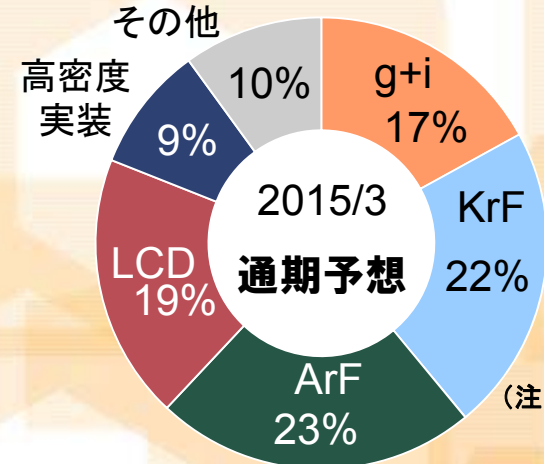
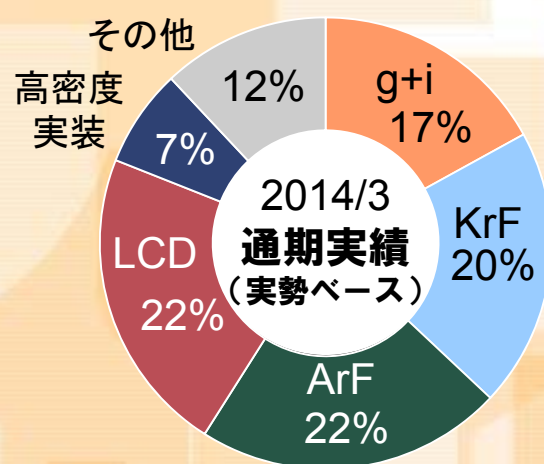
(注) 韓国子会社の営業開始に伴い、販路を一部変更しております。

東京応化工業株式会社と子会社間の決算期の違いから、14/3 下の売上高にマイナスの影響が出ております。

通期予想から上期実績を差し引いて下期予想としています。

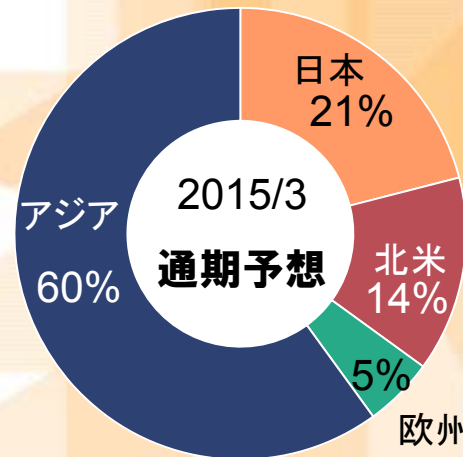
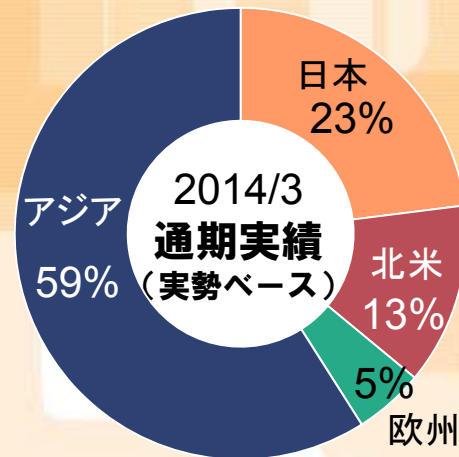
(ご参考) エレクトロニクス機能材料部門

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



(注) 高密度実装:レジスト材料、MEMS材料、WHS材料

半導体フォトレジストの地域別売上構成



(注) エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成(2014/3通期実績)及び半導体フォトレジストの地域別売上構成(2014/3通期実績)は、販路変更に伴う売上高への影響を考慮した数値(実勢ベース)を使い作成しております。



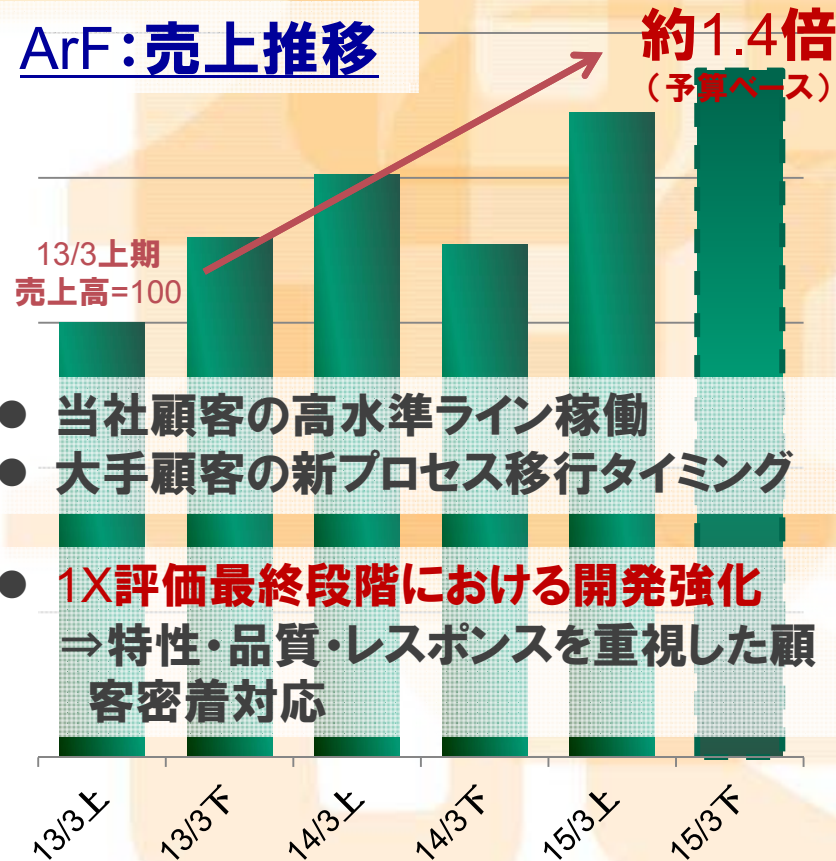
トピックス
～tok中期計画2015の取組み～

ArFのシェアアップ・プラスα効果

半導体先端プロセスにおける強固な事業基盤の構築

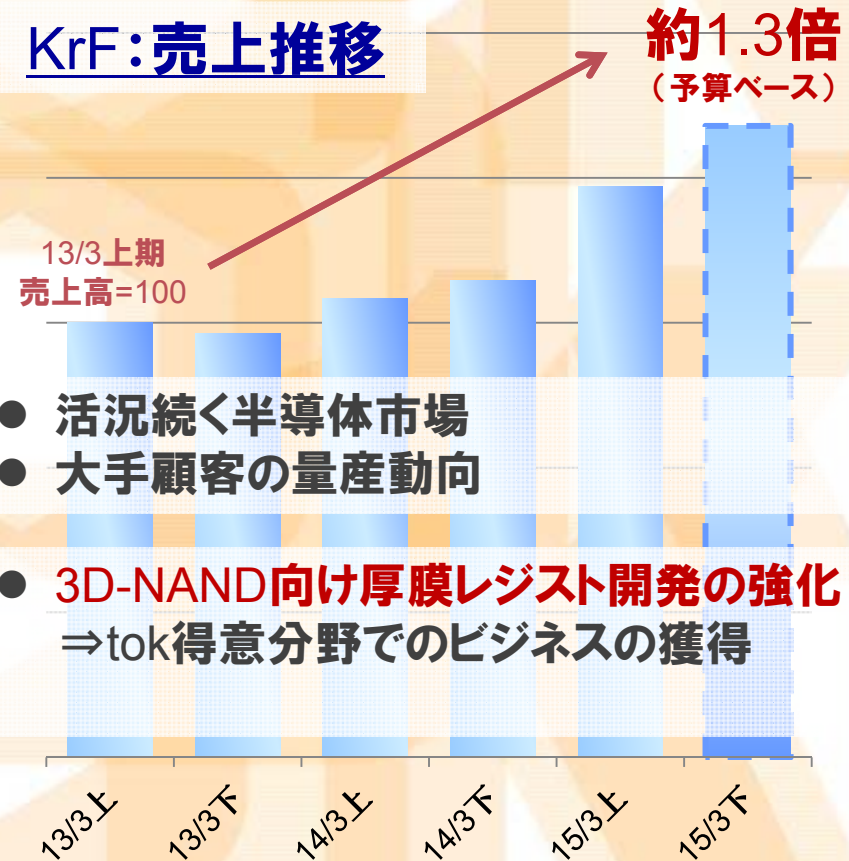
ArFのシェアアップ・プラスα効果の実現

ArF:売上推移



- 当社顧客の高水準ライン稼働
- 大手顧客の新プロセス移行タイミング
- 1X評価最終段階における開発強化
⇒特性・品質・レスポンスを重視した顧客密着対応

KrF:売上推移



- 活況続く半導体市場
- 大手顧客の量産動向
- 3D-NAND向け厚膜レジスト開発の強化
⇒tok得意分野でのビジネスの獲得

高密度実装材料

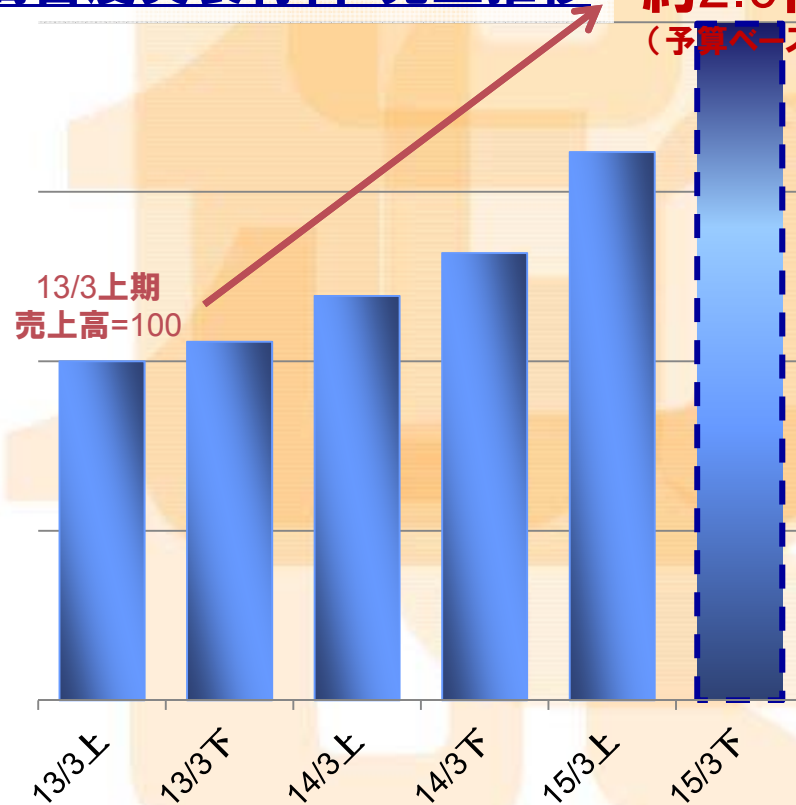
スマホ、タブレット分野の技術革新、ウェアラブル端末市場の成長



先端プロセス実装材料/MEMS新規材料拡販

高密度実装材料:売上推移

約2.0倍
(予算ベース)



先端プロセス実装材料

- パッケージの高密度化要望の強まりから、技術進化は加速。
- ポジ型レジストの強み(高精細向け)を活かしながら、韓国、台湾市場を強化。

MEMS材料

- センサー市場の成長に伴いMEMS材料は、堅調に拡大。
- 新規ユーザーの獲得、顧客基盤の更なる拡充。

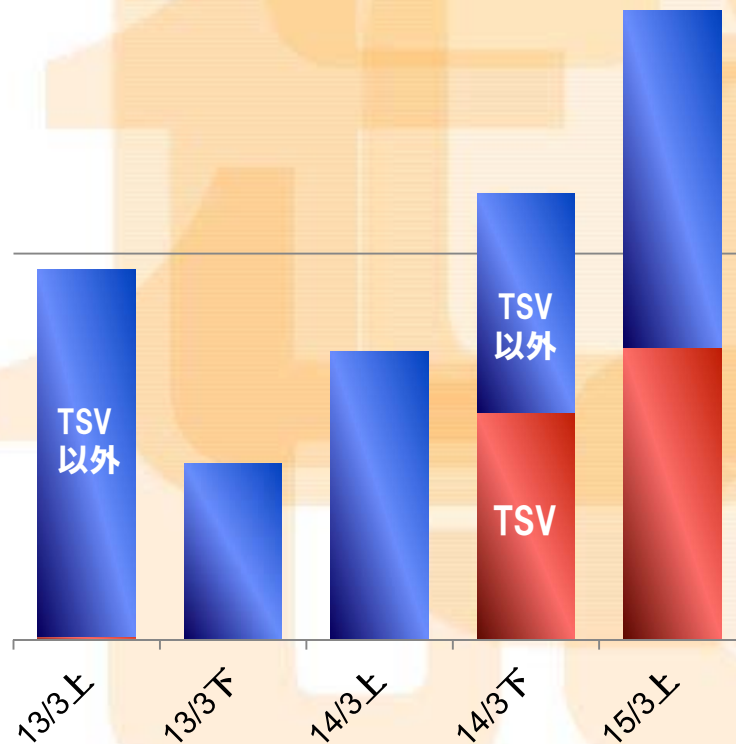
装置事業

TSV市場の立ち上がり遅延/TSV技術の将来性



TSV装置における優位性の維持・強化と新製品の拡充

受注高推移(百万円)



TSV装置

- ファウンドリー、OSATを中心に受注獲得。
- 量産需要の立ち上がりを見据え、積極的なアプローチを継続。

新製品

- 次世代フレキシブルディスプレイ製造装置
⇒多くのユーザーと評価進行中、受注実績あり。
- UVキュア装置
⇒高精細ディスプレイ向けに多くのメーカーと評価が継続。
- その他(半導体コーター等)
⇒受注確度を高めるべく対応中。

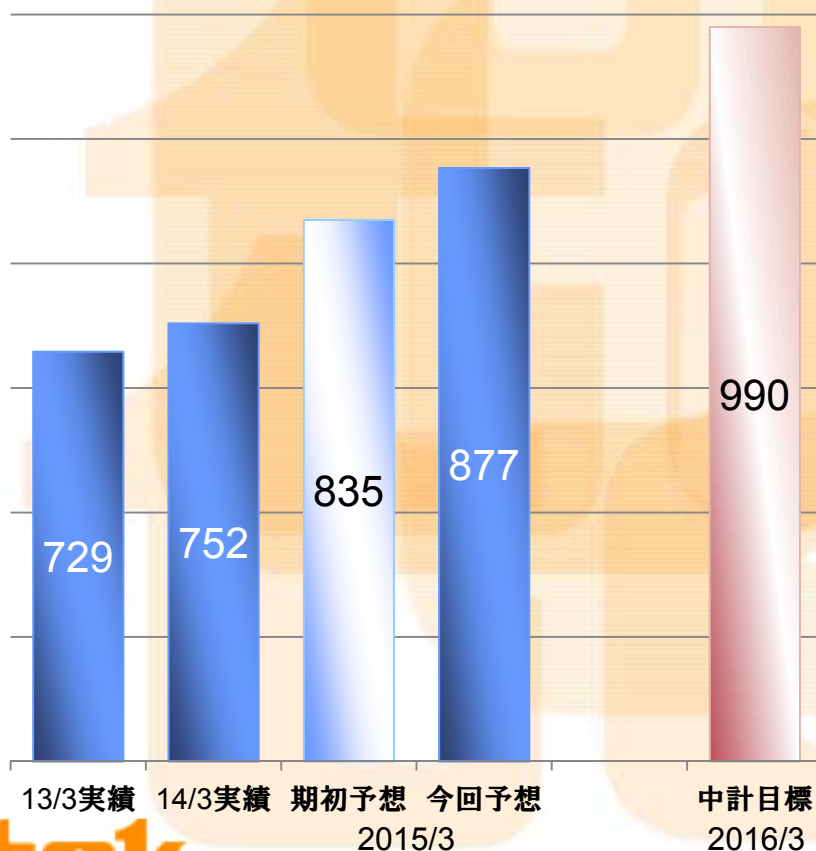
tok中期計画2015の取組み

既存領域の深耕・拡大と共に、新規領域の早期立ち上げを目指す

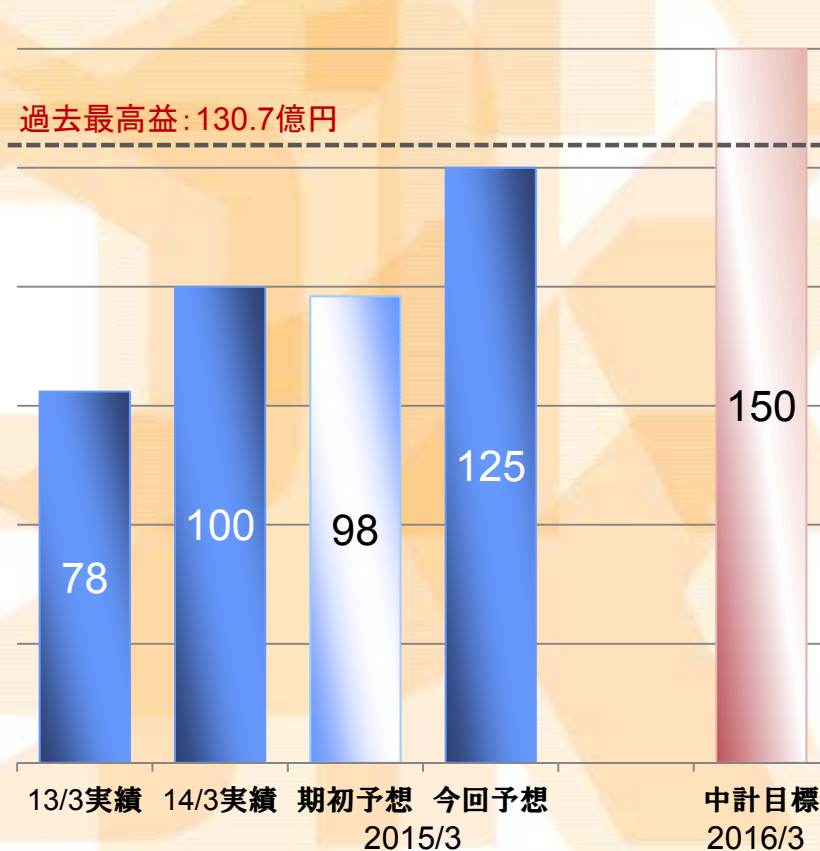


「過去最高益更新」・「事業基盤増強」・「事業領域拡張」

売上高の推移(億円)

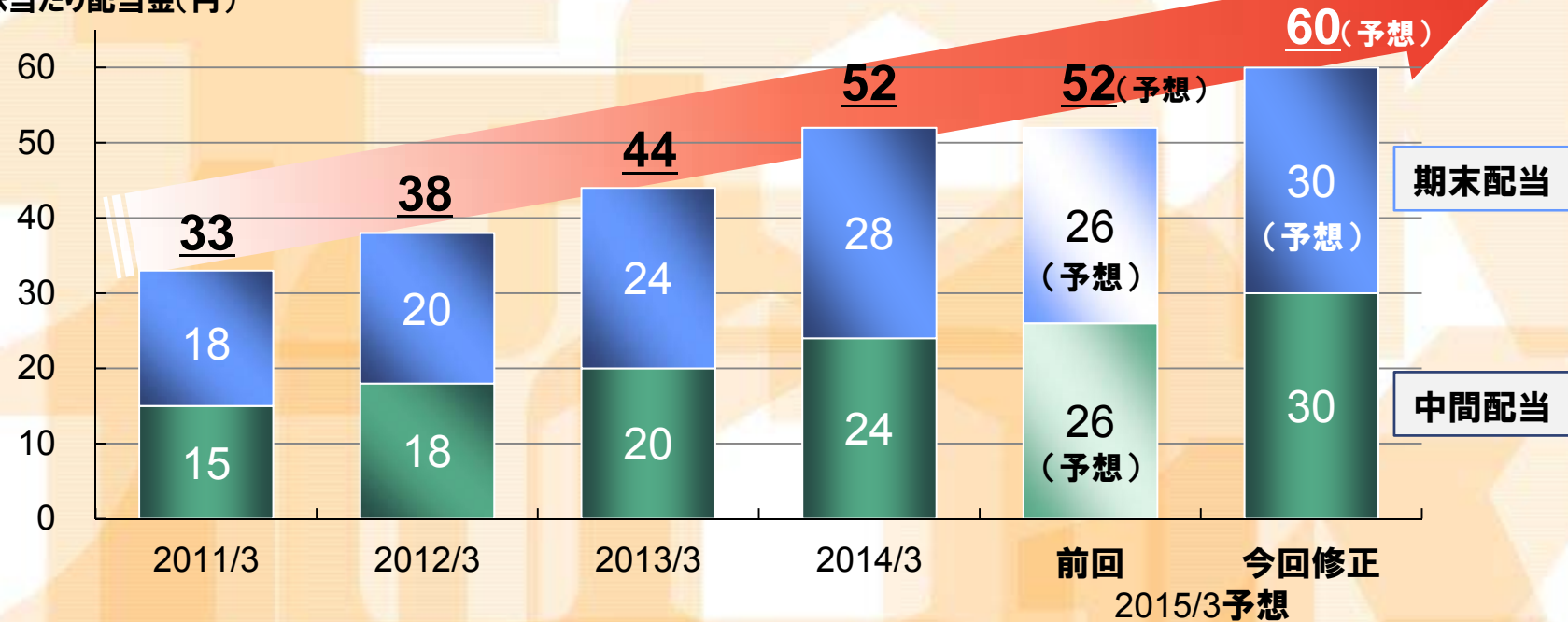


営業利益の推移(億円)



株主還元 配当政策

1株当たり配当金(円)



連結EPS	81.08円	84.86円	121.69円	168.54円	165.09円	196.19円
配当性向	40.7%	44.8%	36.2%	30.9%	31.5%	30.6%

株主還元に関する基本方針(ポイント)

- (1) 現在の水準を考慮しつつ連結配当性向30%以上の配当を継続的に実施
- (2) 長期的な視点に立ち、財政状態や業績等を総合的に勘案
- (3) 自己株式の取得は長期的な見地からの株主還元策として弾力的に実施

<http://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。